



生産性向上支援訓練 利用者の声

- ◆利用コース名：「生産現場の問題解決」（6時間×2日間）
- ◆訓練実施時期：令和元年10月
- ◆受講者満足度：100%

【事業主団体様】福井県機械工業協同組合

- ・所在地：福井県福井市
- ・会員企業数：97企業
- ・組合概要：地域経済および業界発展に努めるとともに、組合員の活性化、技術向上のため、技術展への出展支援、販路開拓などの事業や、担い手確保、人材育成のため、各種研修、派遣交流事業などを実施しています。



【岩下理事長】

事業主団体の声

<訓練を利用した経緯>

近年、ものづくり産業では、従来にも増して生産性の向上が求められています。このことから、「生産性向上支援訓練」が各企業の従業員に必要な研修であると考えました。

<訓練を利用した感想>

初めのうちは、受け身の姿勢で受講していましたが、だんだん積極的に訓練を行うようになり、模擬作業ではかなりの改善がなされ、大きな成果が確認できました。

参加者全員が「役に立った」との結果から、実践的で、課題解決につながり、とても有意義な訓練であったと考えます。

<今後の抱負>

生産性向上をはじめ、組合員のニーズに対応したものづくり企業として必要な人材育成のための研修を実施していきたいと考えています。



【訓練風景】

【利用事業主様】 鯖江精機株式会社

- ・所在地 : 福井県丹生郡越前町
- ・設立 : 昭和38年
- ・従業員数 : グループ連結 151名
- ・事業内容 : 合理化・省人化・自動機械の設計製作



【社屋外観】

事業主の声

弊社は、工場の産業機械の設計～製作まで一貫して行う機械メーカーです。近年、生産性向上、人材不足等による合理化・省人化を目的とした機械の受注が多く、様々な種類の機械を製作するようになりました。それにより如何に生産効率を上げるかが現状の課題となっております。

今回、「生産現場の問題解決」ということで4名の社員に受講してもらいました。現場の効率アップの考え方、ムダの排除、コミュニケーションの必要性などを学び、日々意識することで仕事に生かしてもらっています。

今後は受講生が先頭に立ってもらい、現場全体で生産性の向上に取り組んでいこうと考えております。

受講者の声

仕事の進め方として、相手に自分の話を伝える時、相手に合わせた前提条件を明確にし伝えるべきだと思いました。

日々、コミュニケーションを取りつつ仕事を進めていく中で、チームとしてどれだけ意識や概念を共有できているかが、仕事の効率を上げる上で重要なことだと学びました。

今後日々の自身の言葉選びや、話す順序・内容を見つめなおし、また皆で話し合う際の資料作りの工夫をしていくことで、ムダをなくし生産性・品質を向上する事に努めていきたいです。



【受講者の皆さま】